

令和7年第3回定例会一般質問通告事項

	中西海斗議員（木曜会）	質問方式：一問一答方式
9月3日	<p>1 立地適正化計画に基づく今後のまちづくりの方針と、6つの提案に対する市の見解を問う</p> <p>※ 6つの提案</p> <p>【提案1】空き家再生を基軸とした都市構造の再生</p> <p>【提案2】商店街を15分都市モデル地区として再生する構想</p> <p>【提案3】土堂小学校跡地の複合利用</p> <p>【提案4】アーケード街の老朽化対策</p> <p>【提案5】電動アシスト自転車導入と自転車専用道の整備</p> <p>【提案6】福本渡船の航路復活による都市構造の再接続</p> <p>(1) 立地適正化計画における都市像と方向性について</p> <p>ア 抽象的な表現にとどまる現行案に対し、尾道市として将来の価値や象徴的施策をどのように明示するのか</p> <p>イ 市民生活、交通、商業エリア、防災、空き家対策など、多様な分野においてどのような都市像を想定しているのか</p> <p>(2) 「尾道の魅力（バリュープロポジション）」の位置づけについて</p> <p>ア 観光と生活が共存する尾道独自の魅力を、今後のまちづくりにどのように活かしていくのか</p> <p>イ 人口減少や高齢化によって損なわれつつある地域の価値を、どのように維持・再生していくのか</p> <p>(3) 15分都市の理念導入について</p> <p>ア 生活利便性、コミュニティ再生、環境負荷軽減、観光と生活の共存といった観点から、立地適正化計画との整合性をどのように確保していくのか</p> <p>(4) 空き家再生を基軸とした都市構造の再生について【提案1】</p> <p>ア 中心市街地をモデル地区に設定し、空き家再生と入居促進を重点的に支援するゾーンとする考えはあるか</p> <p>イ その際に提示した「5つの柱（改修費用支援、資金調達支援、税制優遇措置、生活・事業支援、調査支援）」について、市としての見解を伺う</p> <p>ウ これらを一元的に担う第三セクターによる「空き家再生・移住促進センター」設立の可能性について</p>	

<p>9 月 3 日</p>	<p>(5) 商店街の15分都市モデル地区化について【提案2】 ア 生活基盤、観光資源、地域経済の三位一体の観点から、商店街を再生する方針を示す考えはあるか</p> <p>(6) 土堂小学校跡地の利活用について【提案3】 ア 若者・子育て世代の拠点としての複合利用の可能性 イ 尾道市立大学や地域との連携による「まちなかキャンパス」構想について</p> <p>(7) アーケード街の老朽化対策について【提案4】 ア 市民生活や観光の歩行空間としての公共性を踏まえ、市がどのように関与・支援していくのか</p> <p>(8) 自転車インフラ整備について【提案5】 ア 電動アシスト自転車の貸出拠点や自転車専用道整備を通じた、回遊性・利便性の向上と実効可能性について</p> <p>(9) 福本渡船の航路復活について【提案6】 ア 都市機能誘導区域と居住誘導区域をつなぐ公共交通インフラとしての意義 イ 市として航路復活に取り組む考えはあるか</p>
----------------------------	--